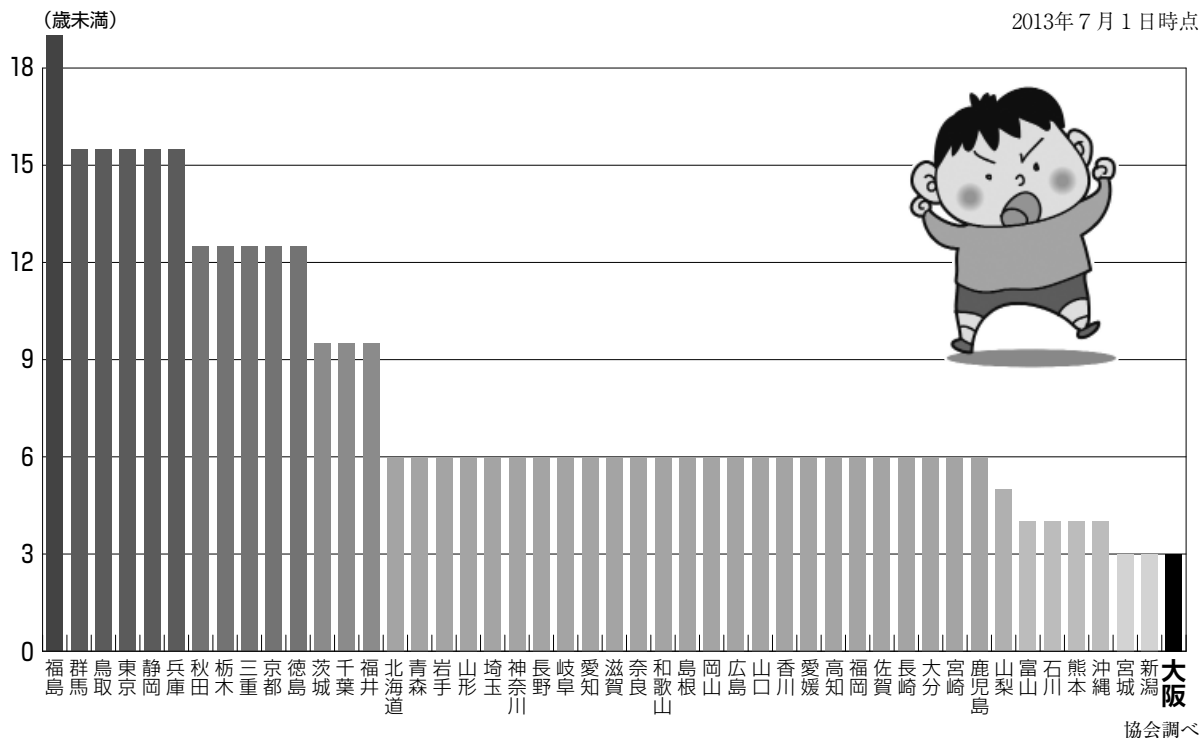


全国の子ども医療費助成制度の対象年齢 (通院)



子ども医療費助成制度の対象年齢の拡充が全国で広がっている。福島の「18歳以下」を筆頭に、昨年1年間で8府県が助成の範囲をそれぞれ「中卒」「小卒」まで引き上げた。今や8割を超える都道府県が義務教育「就学前」の児童へ助成しており、さらなる制度改善に向けた動きが活発化している。大阪は、全国的な流れから取り残され、「ワースト・ワン」記録を毎年、更新し続けている。

# 子ども医療 姿勢問われる大阪

## 助成「3歳未満」わずか3府県

## 全国で広がる対象年齢の引き上げ 静岡・兵庫も「中学卒業」に拡充

大阪府は協会との懇談のなかで、対象年齢の拡充について「財政に余裕がない」と拒否している。しかし、大阪より財政が厳しい兵庫や北海道などは、早々に制度を改善しているのが実態だ。財政状況は言い逃れに過ぎない。

### 改善を拒否

2009年10月に全国に先駆けて通院の助成を

子どもの医療費助成制度の最低ラインは、「3歳未満」。47都道府県中、大阪・宮城・新潟のわずか3府県だけだ。同じく全国最低で並んでいた佐賀は、2012年4月に「就学前」に引き上げ、「不名誉な地位」から一足先に脱出した。

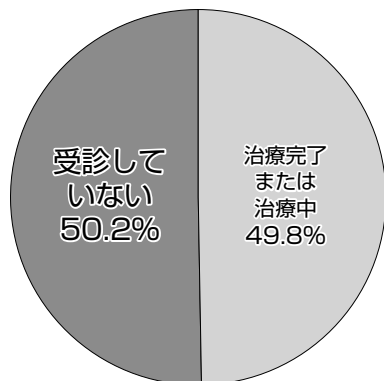
一方で、保護者や住民の要望を受け、少なからず都道府県が制度改善へ踏み出している。2012年8～9月にかけて秋田・三重・京都が相次いで「小卒」に、同年10月には福島「18歳以下」、静岡「中卒」、徳島「小卒」にそれぞれ拡充した。今年7月からは、兵庫が「中卒」に引き上げるなど、各自自治体が拡充を競い合っている。

「中卒」に拡充し、義務教育の子どもの医療費を無料化した群馬県の報告では、「早期受診により重症化が防止され、結果的に医療費を抑制する」効果もあると分析している。子どものむし歯の治療率が全国平均を大きく上回り、ぜんそくやアトピー性皮膚炎などの慢性疾患の重症化予防に役立っていることも分かった。

### 自治体の責任

協会が昨年実施した「学校歯科治療調査」では、学校検診における要治療児童のうち、半数しか受診していないことが判明した。治療費の窓口負担を苦に、セーフティネットからこぼれ落ちる児童が相次いでいる。

治療が必要だが歯科を受診していない児童



## 7月から茨木「小卒」へ

### 池田・和泉・四條畷は「小3」に改善

大阪府が子ども医療費助成制度を全国最低のまま放置するなか、地域住民や協会などの強い要望を受け、独自に対象年齢の拡充に踏み出す市町村が相次いでいる。府の制度に上乗せする形で、通院の場合、7月1日から

また、入院に対して町村も増えている。豊中

茨木市が「小卒」に、池田市・和泉市・四條畷市が「小学3年」にそれぞれ引き上げる。池田市はさらに第4子以降を対象に「小卒」まで拡充する。吹田市は9月から「中卒」に大幅に改善する。真市は10月から「小卒」に引き上げる。府下の制度は著しく遅れている。厚労省の調査では、「中卒」まで助成する市町村が4割を超え、窓口負担の無料化も急増している。府内では、7月時点で「中卒」は8市町に留まり、無料化はゼロだ。脆弱すぎる府の制度が、市町村独自の拡充に悪影響を与えている。協会が常任幹事を務める大阪社会保険推進協議会が毎年、実施している「自治体キャラバン行動」が7月から始まる。府内の全市町村と懇談するなかで、さらなる助成の拡充を求めていく。

府内市町村の子ども医療費助成制度

2013年7月1日時点

市町村名	対象年齢		所得制限
	通院	入院	
大阪市	中卒	中卒	児童手当
堺市	中卒	中卒	なし
岸和田市	就学前	中卒	なし
豊中市	就学前	小卒	なし
池田市	小3	中卒	なし
吹田市 ☆1	就学前	小卒	児童手当
泉大津市	小1	小1	なし
高槻市	小卒	小卒	なし
貝塚市	就学前	中卒	なし
守口市	就学前	中卒	児童手当
枚方市	就学前	小卒	なし
茨木市	小卒	小卒	児童手当
八尾市	就学前	中卒	児童手当
泉佐野市	就学前	就学前	なし
富田林市	小卒	中卒	なし
寝屋川市	小卒	小卒	なし
河内長野市	小3	中卒	なし
松原市	就学前	小卒	なし
大東市	小3	小卒	なし
和泉市	小3	中卒	なし
箕面市	中卒	中卒	なし
柏原市	就学前	小卒	なし
羽曳野市	就学前	小卒	なし
門真市	小3	小3 ☆2	なし
摂津市	就学前	中卒	なし
高石市	就学前	小卒	なし
藤井寺市	就学前	中卒	なし
東大阪市	就学前	中卒	なし
泉南市	就学前	就学前	なし
四條畷市	小3	小3	なし
交野市	就学前	小卒	なし
大阪狭山市	小3	中卒	なし
阪南市	就学前	就学前	なし
島本町	就学前	就学前	児童手当
豊能町	就学前	中卒	児童手当
能勢町	中卒	中卒	児童手当
忠岡町	就学前	就学前	なし
熊取町	就学前	中卒	なし
田尻町	中卒	中卒	なし
岬町	就学前	中卒	なし
太子町	中卒	中卒	なし
河南町	中卒	中卒	なし
千早赤阪村	中卒	中卒	なし

大阪社保協調べ

☆1・9月1日から入通院ともに「中卒」 ☆2・10月1日から「小卒」

※所得制限の「児童手当」は、児童手当の特例給付に準拠